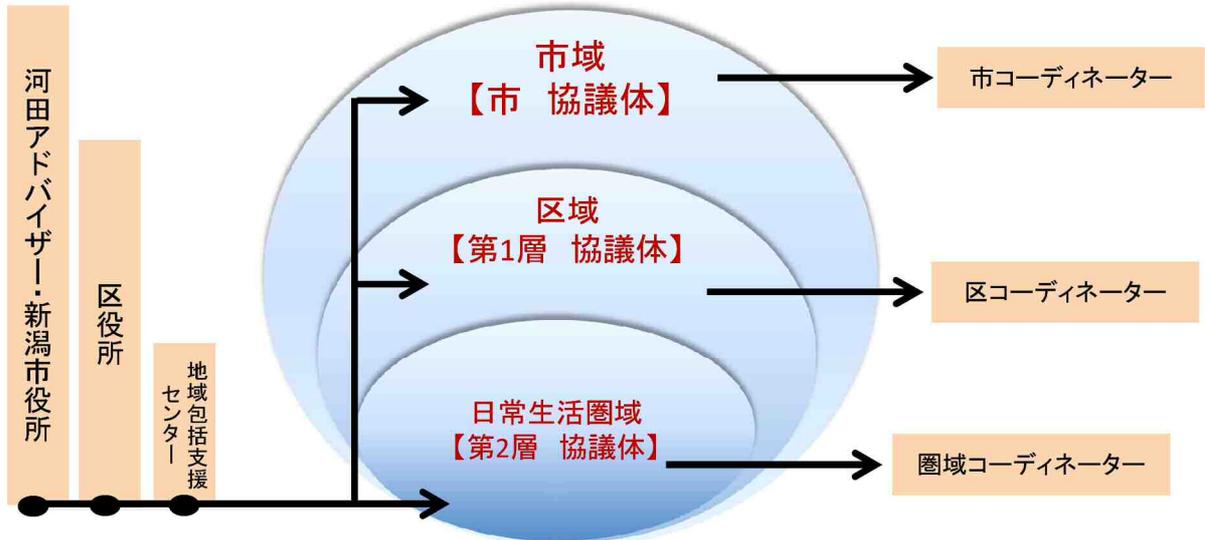


支え合いのしくみづくり会議（協議体）と 支え合いのしくみづくり推進員（生活支援コーディネーター）

- 地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制の充実を図る。
- 地域の助け合い活動を支援するため、協議体を設置し、生活支援コーディネーターを配置する。



日常生活圏域とは：住民が日常生活を営む地域として、人口や地理的な条件を勘案して定めた地域。
新潟市内に27の圏域を設定。各圏域ごとに地域包括支援センターを設置。 ¹

協議体の設置と生活支援コーディネーターの配置

協議体	生活支援コーディネーター
<p><u>活動当事者による検討組織</u> 【役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域の現状把握 ②地域の課題発見 ③生活支援コーディネーターの選出・支援 	<p><u>協議体で選出</u> 【役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①資源開発 <ul style="list-style-type: none"> ・不足するサービスの創出 ・サービスの担い手の育成・支援 ②ネットワーク構築 <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有、連携体制の強化

協議体 設置

○生活支援サービスを取り組む団体への呼びかけ

第1段階

○協議体で生活支援コーディネーターを選出

第2段階

○地域で生活支援サービス等を提供できる担い手の発掘や養成支援

○地域づくりや助け合い活動に取り組む団体とネットワーク構築

協議体の構成団体のイメージ

- ・地縁団体等
- ・区社協 ・生協 ・農協 ・区老連
- ・シルバー人材センター
- ・区民児協 ・社会福祉法人
- ・NPO法人
- ・地域包括支援センター
- ・その他生活支援サービス提供団体
- ・生活支援コーディネーター ・行政

コーディネーターは団体Aの職員Bさんはどう？

Bさんの経験から言って、協議体の支援があれば適任かと思われます

ネットワーク・資源開発

協議体の役割と活動主体について

協議体とは

【目的】

地域住民の力を集めて、
相互の助け合いの仕組みを創出する

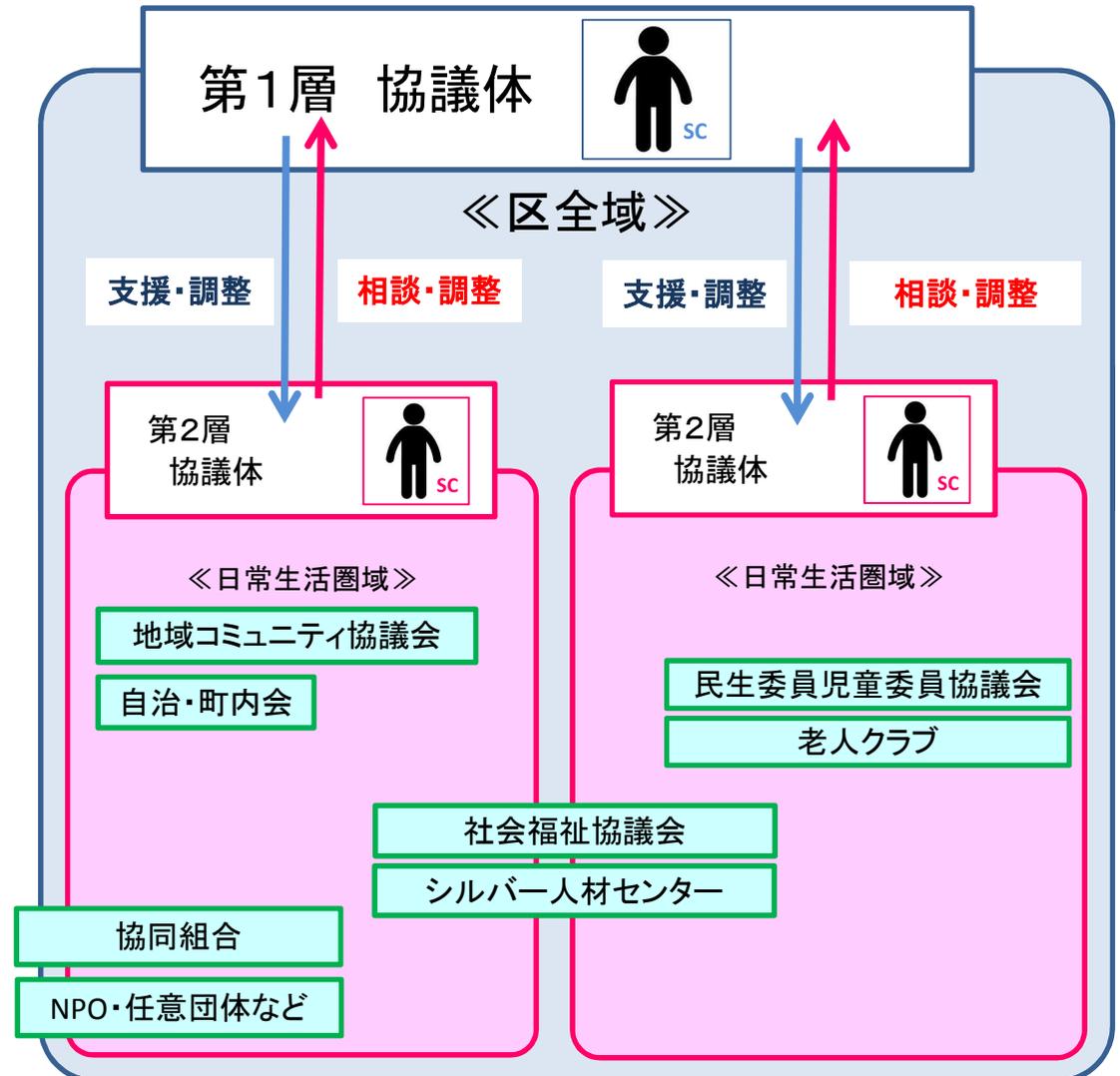
○役割

- (1) 「生活支援コーディネーター」をそれぞれの分野で支援する
- (2) 地域住民の困り事を把握し、その解決方法を考える

《具体的には》

- 「生活支援コーディネーター」を選出する
- 随時、「生活支援コーディネーター」の相談に応じ、
日常的な活動を支援する
- 地域の困り事などの情報収集を行い、定期的に会合し、
その解決方法について協議する

◎協議体と活動主体の連携イメージ



※  は活動主体を表す

※SC(生活支援コーディネーター)